

宮城県が発行するサステナビリティボンドの購入について

板橋区は、このたび、宮城県が発行するサステナビリティボンド（宮城県公募公債第3回1号、以下「本債券」という）への投資を決定しましたので、お知らせします。

サステナビリティボンドとは、調達資金の使途が、①環境改善効果があること（グリーン性）及び、②社会的課題の解決に資するものであること（ソーシャル性）の双方を有する債券です。

本債権は、株式会社格付投資情報センター（R&I）から、国際資本市場協会（ICMA）が公表するグリーンボンド原則2021、ソーシャルボンド原則2023、サステナビリティボンド・ガイドライン2021、環境省が公表するグリーンボンドガイドライン2022年版、金融庁が公表するソーシャルボンドガイドライン2021年版及び国際金融公社（IFC）が公表するブルーファイナンスのガイドラインへの適合性に関するセカンドオピニオンを取得しております。

また、本債権の発行により調達した資金は、地球温暖化等をはじめとする環境問題の解決に資する「グリーン適格プロジェクト」に加え、海洋保護や持続可能な漁業等に資する「ブルー適格プロジェクト」、様々な社会課題の解決に資する「ソーシャル適格プロジェクト」を充当の対象としております。

予 定 事 業
➤ 地域鉄道事業者（阿武隈急行鉄道）の車両更新に対する補助
➤ 藻場造成
➤ ダム建設
➤ 障がい者支援施設の整備

板橋区は、本債券をはじめとしたSDGs債への投資を継続的に実施することによって、持続可能な社会の実現に貢献できるよう取組みを推進するとともに、経済・社会・環境の三側面の総合的な発展による「東京で一番住みたくなるまち」の実現をめざしていきます。